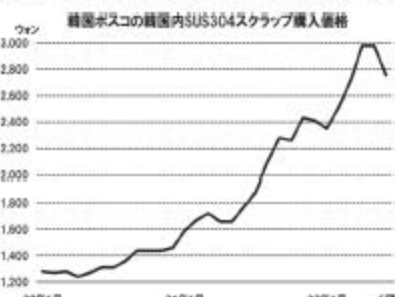


# ステンレス ポスコ6月価格 220ウォン下げ 5カ月ぶり反落

韓国ポスコは9日、6月の韓国内SUS304スクラップの購入価格を前月比220ウォン下げの2,760ウォンに改定した。円換算では1kgあたり294円見当。LMEニッケルの軟化とスクラップ在庫の余剰感を反映した対応と見られ、5カ月ぶりに反落する動きとなった。これを受け、輸出市場の軟調感は目先も継続する見込みで、国内市況も弱気感を引きずる展開となりそうだ。

関係筋によると、今回の交渉では当初400ウォンの値下げ幅が提示された模様。ただ、現地ディーラー筋が抱える高値の在庫が考慮され、ポスコ側が220ウォン下げにとどめ譲歩した形になったという。ただ、台湾ミルの買い気が弱いこともあり、同社には東南アジアや米国から安値のスクラップが大量に押し寄せ、足元の在庫水準は非常に高いようだ。ある商社筋は「ポスコ側は日本と韓国内のスクラップの価格帯が、他国と比べ非格に高い水準にあると指摘しており、高値敬



遠の姿勢を強めたままだ」と語る。韓国内でも需給バランスの崩れが目立つようだ。

韓国向け輸出大手の在庫は想定以上に膨らみ、6日～18日まで全拠点で荷止めを実施中だ。需要家の引き合い鈍化と数カ月分の船積み数量を確保済みとあって、高炉系大手の先行10円下げに対し、荷受け再開後から同調下げに動く公算が大きい。ただ、荷止めの延長も視野に入れている模様で、国内市場も需給バランスの正常化には時間を要する見込みだ。

なお、SUS316の6月価格は荷止めのためスキップ。SUS430は80ウォン下げの740ウォン(78円見当)だった。

	9日前場	前日比(円/t)	在庫量	前日比	前月平均
銅	9,630.00	-62.00	118,175	1,275	9,362.79
鉛	2,198.00	-27.00	39,200	500	2,145.17
亜鉛	3,792.00	-30.00	84,800	-1,350	3,759.45
アルミ	2,752.50	-13.00	430,050	-3,950	2,826.36
ニッケル	28,055.00	-805.00	70,782	-210	27,950.00
錫	37,200.00	200.00	3,005	0	35,944.76
金(NY)	1,852.80	-3.70	-	-	1,847.26
原油(NY)	121.51	-0.60	-	-	109.26
銅TTS(円)	135.22	-0.24	-	-	129.81

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの22年7月製※為替は日本時間6月10日のTTS

## 亜鉛建値3千円下げ、56万2千円に反落

三井金属は10日、亜鉛建値を1kgあたり3円下げの562円に改定した。中国・上海の一部で再びロックダウンに入ったことが嫌気され、LME亜鉛価格(セツ

ルメント)が中1営業日ぶりに3,800ドルを割り込んだ。これを受け建値は月初の水準に戻り安となり、亜鉛スクラップの市中価格も1～3円がた値下がりした。

## 6月の銅・アルミスクラップ市況見通し

非鉄金属リサイクル全国連合会 橋本健一郎会長(橋本アルミ取締役)



6月のLMEと為替は、米国の金融政策とロックダウン解除後の中国の動向に左右されそうだ。

米国の金融政策については、5月の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で大半の参加者が追加利上げを行うことが適切との見解を示したため6月の利上げは予定通り行われるとの予想から、上昇が抑制されそうだ。ロックダウン解除後の中国の動向については、日欧米の自動車メーカーが挽回生産に向けて動き出すとの予想から、需給は引き締まると見ている。

それらを踏まえ、6月のLME銅価格(セツルメント)は9,500～11,000ドル、銅建値は124～153万円/トン程度。LMEアルミ価格(同)は2,700～3,100ドルのレンジで、スクラップ購入価格は前5月最終価格より据え置きから-10円程度とそれぞれ予測している。また、為替は1ドル=126～135円(1カ月間TTM)程度の円安基調が続くと見ている。

スクラップの景況感としては、銅スクラップの流通在庫(一次問屋)は、5月に銅建値が128万円から一時123万円に急落したことや、コロナによる生産減でスクラップの発生は薄いままで各問屋筋の在庫は薄い。需要面については上海ロックダウンによる中国の部品調達の遅れから自動車生産と販売の大幅減少傾向があるが、伸銅品に関しては挽回生産に向けた在庫積み上げから需要は旺盛だ。6月から上海のロックダウンが解除されたことから更なる需要の回復が期待でき、メーカーの高値買いは今月も続くとしている。

アルミスクラップについては、ロシア情勢の停戦期待から供給緩和観測が台頭しLMEアルミ価格が3,000ドル台から2,700ドル台に下落したが、自動車の減産でスクラップは売りにくい状況だ。ただ、問屋筋への入荷は少ないままのようだ。需要面については、上海のロックダウン解除などでサプライチェーンの混乱が落ち着き、自動車向けスクラップは回復する見通しだ。ただ、ウワ物については巣ごもり需要の一服で需給は緩みそうだ。